令和元年度　事 業 報 告

1　事業の概要

令和元年度の事業については、年度末から２年度にかけて蔓延した新型コロナウィルス感染症の影響が若干出たものの、基本方針と事業実施計画に沿って関係各位のご支援とご協力のもと、シルバー事業の適正な運営に努めてまいりました。

請負の事業実績は、受注金額、就業延人員ともに、前年をわずかに上回りました。

また、派遣についても順調に増加しており、請負と派遣を合わせた合計でも前年度を若干上回ることができました。

さらに会員数の拡大については、特に力を入れて取り組んでおり、前年度に引き続き４年連続で増加することができました。しかしながら、新たな業務の問合せがあっても受注できないことがあるなど、依然として厳しい状況が続いています。

当シルバー事業に深いご理解とともに、ご支援ご協力をいただきました苫小牧市をはじめ、賛助会員、関係機関、事業所、一般家庭の皆様に心から感謝を申し上げます。

○　事業実績

区　　分	令和元年度	平成30年度	比 較 増 減	対 前 年 比
1　登録会員数	697 人	683 人	14 人	102.0 %
2　受注額･就業延人員				
(1) 請　　負				
① 受 注 金 額	239,526 千円	234,390 千円	5,136 千円	102.2 %
② 就業延人員	53,604 人日	53,376 人日	228 人日	100.4 %
(2) 派　　遣（参考）				
① 受 注 金 額	46,804 千円	43,656 千円	3,148 千円	107.2 %
② 就業延人員	7,695 人日	7,642 人日	53 人日	100.7 %
(3) 請負･派遣合計（参考）				
① 受 注 金 額	286,330 千円	278,046 千円	8,284 千円	103.0 %
② 就業延人員	61,299 人日	61,018 人日	281 人日	100.5 %
3　就　業　率				
(1) 請　　負	81.5 %	80.2 %	1.3	―
(2) 派　　遣（参考）	86.9 %	85.6 %	1.3	―

※　派遣事業は北海道シルバー人材センター連合会の事業です。

2　事業の実施内容

(1) 会員数の拡大

①　苫小牧市の広報紙や地方紙に広告を載せるなどの広報活動を行うとともに、公共施設で会員募集ポスターを掲示などし、市民に積極的に情報を提供し新規会員獲得ＰＲに努めました。

②　インターネットを利用する高齢者が増加していることを踏まえ、会員拡大につながるようホームページ上でシルバーの活動や入会手続きなどについて、適宜必要な情報を提供しＰＲに努めました。

③　センターが受託している指定管理施設である労働福祉センターにおいて、確定申告期間中に役員・会員がパンフレット等を 約4,600枚配布いたしました。

また職業安定所や年金事務所にもパンフレットを置き入会促進と受注拡大に努めました。

④　女性限定のセミナー伴う入会説明会や農業関連分野など人手不足分野での一般市民向けの講習会を次のとおり開催し、会員の入会を図りました。

講 習 会 名	期　日	参加人数	講　　師	実 施 場 所
ハナショウブ育て方講習会	６月17日(月)	会　員 ７人	三浦造園㈱代表取締役 林　普二 氏	錦大沼公園
ハスカップ栽培講習会	６月20日(木)	会　員 15人 一般市民 ７人	胆振農業改良普及センター東胆振支所 専門普及指導員 小川　洋平 氏	労働福祉センター
踊る♪ほうとう学校 及び 女性限定入会説明会	10月９日(水)	講習会 35人 説明会 17人	山梨県 草笛市 江戸屋商店 踊る♪ほうとう学校 ぜっ校長 武川　昌代　氏　他	労働福祉センター
アイヌ刺繍（初級）講座 及び 女性限定入会説明会	３月13日(金) コロナ感染予防のため延期	申込人数 ４人	阿部　由美子 氏	生活館
刈払機取扱安全衛生 教育講習会	３月25日(水)	会　員 ５人 一般市民 ５人	コベルコ教習所㈱ 北海道教習センター 主任講師 大和田　誠 氏	職業訓練センター

⑤　西部地区や東部地区など市内４か所での開催や土曜日の開催など多くの人が参加しやすいように工夫いたしました。

⑥　センターＰＲ用チラシを市内71千戸に配布し入会促進と受注拡大に努めました。

⑦　一般市民の参加はありませんでしたが、未就業会員の草取り体験・実習型の研修会を行いました。

⑧　平成30年度に導入したポイント制度をさらに推進し、会員数の拡大とともに受注の確保、組織体制の強化を図りました。

⑨　入会後１年未満の会員の退会を防止するため、講習会受講やサークル入会を奨励し、就業相談を実施するなど、会員数減少を抑制するよう努めました。

⑩　高年齢会員が長くセンターに在籍できるための対策について調査・研究を行いました。

(2) 適正就業の推進と就業機会の確保

ア 適正就業の推進

①　就業形態については法令遵守に努めるとともに、請負契約に適しない業務は派遣契約を行うなどの対応を行いました。

②　就業機会の均等化を図るため、長期就業などを是正するとともに、未就業会員に対しては、簡易な業務の情報を提供するなどして就業率の向上を図りました。

③　事務所内に就業情報を掲示し会員の希望する就業の促進に努めました。

イ 請負受注の確保と独自事業の推進

①　苫小牧市に対してはシルバー事業の理念、概要を説明し、高齢者に適した就業機会の拡大とともに、事業全般に対する支援を要請しました。

②　就業開拓員を配置し、受注の拡大を図りました。

③　腐葉土、花苗づくりの独自事業について積極的に事業展開するとともに、平成29年に錦岡地区に取得した用地に「樽前平成ファーム」と名付け、ハスカップの栽培を進めながら、将来の展開など、用地を有意義に活用し事業の充実を図りました。

④　会員の就業の拡大を図るため、福祉部門など国の施策等推奨する新たな就業について調査、研究を行いました。

ウ 派遣事業等の充実

①　高齢者派遣事業については、道シ連と連携するとともに、就業機会の拡大につながるよう、取引先との連絡を密にし、業務拡大に努めました。

②　職業紹介については推進してまいりました。

エ 指定管理事業の充実

①　指定管理者となっている高齢者福祉センター、労働福祉センター、錦大沼公園、拓勇・日の出公園については、苫小牧市との協定を遵守して適正な管理運営を行うとともに、利用者サービス向上のために施設の適切な補修や改善に努めました。

②　錦大沼ちびっこワカサギ釣りチャレンジ、高齢者福祉センター高齢者セミナーなど、各施設において創意をこらした自主事業を実施し、利用者の満足度の向上と利用者の増加に努めました。

③　高齢者福祉センターについては、これまでの実績を活かし、利用者サービス第一とした提案をし、引き続き令和２年度より５年間受託できるよう努めました。

④　指定管理事業の中で、就業相談の実施や、普及啓発につながる活動を行いました。

(3) 安全就業の徹底

①　安全・適正就業委員会が主体となって、全国安全就業強化月間に合わせて７月24日に、43人が参加して「安全大会」を開催し、健康教室や安全標語入選作品の発表と授賞式を行いました。

②　安全・適正就業委員会を４回開催するとともに、就業現場の安全パトロールを実施し、「安全ニュース」の発行や「安全標語」の募集を行い、安全就業の徹底と会員の安全意識の醸成に努めました。

③　事故が発生した場合は、原因を究明し、就業会員を対象に、事例を基に危険予知訓練を行うなど安全意識を高め事故防止に努めました。

④　会員が良好な体調を維持することが事故防止にもつながることから、定期的に健康診断を受けることを奨励するとともに、次のとおり「健康教室」を開催しました。

教　　室　　名	期　日	講　　師	実施場所	参加人数
健 康 教 室	７月24日(水)	苫小牧市健康こども部健康支援課 保健師　今井 佑子 氏	労働福祉センター	43人

⑤　近年高年齢者の自動車運転による交通事故が社会的関心を集めていることから、自動車運転業務に従事する会員を対象として「自動車安全運転講習会」と「交通安全教室」を次のとおり実施しました。

教　　室　　名	期　日	講　　師	実施場所	参加人数
交通安全教室	５月30日(木)	苫小牧警察署交通第一課 北海道警部補 梶 貴晶 氏	労働福祉センター	126人
自動車安全運転講習会	１月29日(水)	㈱苫小牧中野自動車学校 麓　公貴 氏　他	㈱苫小牧中野 自動車学校	6人

⑥　剪定、機械除草業務における安全就業実施度自己チェックを実施しました。

⑦　高年齢会員及び特定の業務に従事する会員に対しての健康診断書提出について、再度検討してまいります。

⑧　事故を起こした会員に対するペナルティ制度の導入について引き続き調査、研究してまいります。

⑨　連合会で実施する派遣業務に従事する会員の安全・衛生を確保するため衛生委員会を４回開催いたしました。

(4) 組織体制の強化

①　事業の執行機関である理事会をはじめ、部会（総務部会、事業部会）や委員会（安全・適正就業委員会、広報委員会）を開催し、事業の適正な執行と活性化に努めました。

　また、シルバーまつりなどの行事実行委員会に多くの会員が参加することで事業の充実を図りました。

②　地区会議を２回、地区長会議を９地区すべてで開催し、事業に関する情報提供や意見交換、運営に対する要望や提案を話し合い、会員の自主的活動と交流を促進し参画意識や主体性の高揚に努めました。

③　「女性会」は美容講習会を次のとおり開催する予定でしたが、コロナウイルス感染予防のため延期といたしました。また普及啓蒙活動やボランティア活動を積極的に応援してまいりました。

講 習 会 名	期　日	申込人数	講　　師	実 施 場 所
いきいき美容教室 及び 女性限定入会説明会	３月12日(木) コロナ感染予防のため延期	13人	資生堂ジャパン㈱ ビューティセラピスト 四渕　眞希子 氏　他	COCOTOMA苫小牧

④　事務局が入居している労働福祉センターは市の公共施設の統廃合の対象となっていることから、活動拠点としての事務局の確保について、引き続き苫小牧市と協議を行いました。

⑤　事業に必要な備品の充実など必要な整備を行いました。

⑥　事務局職員の能力向上のため必要な研修を行いました。

⑦　苫小牧市、公共職業安定所、道シ連、道内の各センターなど関係機関や諸団体と十分に連携し、事業の円滑な推進に努めました。

(5) 財政基盤の強化

①　国の補助制度の動向を注視するとともに、派遣事業の着実な進展により補助金の確保に努めました。

②　長期的な視点に立って、適正な固定資産や備品の購入と活用を行うとともに、経費の削減に努めました。

③　会員の就業に見合った適正な収入を確保するとともに、事務費収入の増額を図るため、配分金の改定については最低賃金などの動向を的確に把握し改定時期の検討を行いました。

(6) 会員の研修と会員相互の交流の推進

①　会員の知識、技能、技術の向上を図り、就業職種と就業分野の拡大のため、センター主催の講習会を次のとおり実施しました。

区分	講 習 会 名	期　日	参加人数	講　　師	実 施 場 所
事務系	毛 筆 講 習 会	11月12日(火)	3人	当シルバー会員 川上　悠子 氏	労働福祉センター
	硬 筆 講 習 会	11月12日(火)	8人	硬筆講師 五十嵐 恵子 氏	労働福祉センター
技能系	剪 定 講 習 会	６月10日(月)	11人	苫小牧造園協同組合 安藤　秀俊 氏	労働福祉センター 文 化 公 園
	除 草 講 習 会	６月11日(火)	19人	胆振総合改良普及センター 東胆振支所 地域第二係長 石原 拓朗 氏	労働福祉センター 日 の 出 公 園
介護系	料 理 講 習 会	６月21日(金)	21人	料理講師 平山 あつ子 氏	女性センター
		12月13日(金)	21人		

② 高齢者の顧客への対応の向上を図るため、次のとおり実施しました。

講 習 会 名	期 日	参加人数	講 師	実 施 場 所
認知症サポーター養成講座 及び 入会説明会	1月15日(水)	講習会 20人 説明会 13人	道央佐藤病院 介護福祉士 長谷川 幸昭 氏	労働福祉センター

③ 入会後３年を経過した会員を対象に、シルバー事業に対する認識を深めていただくため、理念や仕組みを詳細に説明する「３年度経過後講習会」を実施しました。

④ 事業の円滑な運営に資するため、会員の現状と意向を把握する「会員継続調査」を実施しました。

⑤ 「休憩室の開放」は理事を先頭に取り組むとともに、就業上の意見や相談を受けるための「会員の相談日」についても利用を促進するよう努め、延べ 167人の会員が利用し、多数の会員から意見・相談を受ける等、会員相互の意思疎通の向上に努めました。

⑥ 会報「とまこまいシルバーだより」第67号、第68号を発行し、会員などに配布し、事業の周知や情報伝達に努めました。

⑦ 会員が自主的に運営する会員の親睦交流行事を次のとおり実施するとともに、趣味・教養等のサークル活動を支援しました。

行 事 名	内 容	参 加 人 数
会 員 親 睦 旅 行	日 時 令和元年９月18日（水） 場 所 壮瞥町 矢野果樹園 参加費 3,800円	47人
会 員 親 睦 新 年 会	日 時 令和２年１月17日（金） 場 所 労働福祉センター 参加費 2,500円	77人

(7) 広報、ボランティアの推進

① 市の広報紙や地方紙等に広告を掲載するとともに、事業実施の際は報道記事を活用して事業の啓蒙宣伝に努めました。

② 会員の技能発表の場を兼ねた「シルバーまつり」を次のとおり開催し、地域との結びつきを強め、シルバー事業の普及啓発に努めました。

行 事 名	シルバーまつり	内 容	
		・会員作品展	手芸品、木工品、書道その他の展示、販売
日 時	令和元年９月28日 （土） 10時～14時	・実演コーナー	包丁研ぎの実演
場 所	労働福祉センター	・飲食コーナー	そば・うどん、おしるこ、甘酒、コーヒー ノンアルコールビール たこ焼き（江別市シルバー） 干ししいたけ・ハスカップジャム販売（美々川福祉園）
		・高齢者職業相談コーナー	シルバー人材センターのＰＲ（パネル、パンフレット）、就業相談
来場者数	約300人	・駐車場特設コーナー	焼き鳥販売 はっぱの力（腐葉土）販売 しいたけホダ木販売 アロニア（伊達市シルバー）販売

③ センターを支えてくれる地域への感謝を込めて実施しているボランティア活動を、７月19日に錦大沼公園ハナショウブ園での花がら摘みと高齢者福祉センター付近の除草と、８月５日に港まつり会場の清掃、ボランティア81人の参加により実施しました。

3 事業実績状況

(1) 会員登録状況

① 異動会員数

(単位:人)

区　分	平成31年3月末 会　員　数	本　年　度 入 会 者 数	本　年　度 退 会 者 数	令和２年３月末 会　員　数
男　性	466	52	59	459
女　性	217	54	33	238
合　計	683	106	92	697
前年度	666	121	104	683
対前年増減	17	△ 15	△ 12	14

② 年齢別会員数

(単位:人)

区　分	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	平均年齢
男　性	0	24	103	167	123	42	73.1歳
女　性	1	30	73	85	41	8	70.7歳
合　計	1	54	176	252	164	50	72.3歳
前年度	3	50	196	226	163	45	72.0歳
対前年増減	△ 2	4	△ 20	26	1	5	0.3歳

③ 職群別会員数

(単位:人)

区　分	技術群	技能群	事務整理群	管理群	折衝外交群	一般作業群	サービス群	その他	合　計
男　性	35	31	59	149	25	159	1	0	459
女　性	5	2	37	3	24	95	72	0	238
合　計	40	33	96	152	49	254	73	0	697
前年度	47	29	81	153	51	256	66	0	683
対前年増減	△ 7	4	15	△ 1	△ 2	△ 2	7	0	14

(2) 請負事業実績

① 就業実人員、就業率

(単位:人)

区　分	会　員　数	就業者数	未就業者数	就　業　率
男　性	459	371	88	80.8%
女　性	238	197	41	82.8%
合　計	697	568	129	81.5%
前年度	683	548	135	80.2%
対前年増減	14	20	△ 6	1.3

② 事業別実績内訳

区　分	受注件数（件）	延人員（人日）	受　注　金　額　（円）						
			配分金	材料費等	事務費	合　計	構成比	前年合計	前年比
公共事業	281	14,158	61,332,556	2,398,797	7,282,409	71,013,762	29.6%	69,904,466	101.6%
民間事業	1,891	31,299	123,982,039	756,168	10,019,335	134,757,542	56.3%	132,336,477	101.8%
一般家庭	3,147	7,688	28,455,537	1,256,037	3,041,645	32,753,219	13.7%	30,797,251	106.4%
独自事業	11	459	795,250	182,880	23,915	1,002,045	0.4%	1,351,846	74.1%
合　計	5,330	53,604	214,565,382	4,593,882	20,367,304	239,526,568	100.0%	234,390,040	102.2%
前年度	5,449	53,376	207,889,150	6,453,763	20,047,127	234,390,040			
対前年増減	△ 119	228	6,676,232	△ 1,859,881	320,177	5,136,528			

③ 職群別就業実績内訳

区　　分	受注件数（件）	延人員（人日）	受　注　金　額　（円）					
			配分金	材料費等	事務費	合　計	前年合計	前年比
技　術　群	18	275	655,989	0	22,606	678,595	2,053,320	33.0%
技　能　群	876	2,180	12,827,150	1,461,945	1,445,826	15,734,921	15,511,147	101.4%
事務整理群	378	3,888	10,387,297	16,376	881,268	11,284,941	11,005,581	102.5%
管　理　群	439	13,672	78,751,332	717,137	6,460,175	85,928,644	83,533,485	102.9%
折衝外交群	45	6,206	12,829,055	150,358	1,652,140	14,631,553	13,537,083	108.1%
一般作業群	3,229	25,642	93,365,747	2,244,366	9,501,353	105,111,466	102,768,860	102.3%
サービス群	345	1,741	5,748,812	3,700	403,936	6,156,448	5,980,564	102.9%
合　　計	5,330	53,604	214,565,382	4,593,882	20,367,304	239,526,568	234,390,040	102.2%

④ 月別事業実績

区分	会員数（人）	就　業		就業率（%）	受注件数（件）	受　注　金　額　（円）			
		実人員（人）	延人員（人日）			配分金	材料費等	事務費	合　計
4　月	622	392	4,019	63.0	336	14,479,398	138,097	1,223,497	15,840,992
5　月	622	421	4,461	67.7	433	17,993,360	176,789	1,586,143	19,756,292
6　月	634	429	5,069	67.7	620	22,516,324	622,060	2,188,953	25,327,337
7　月	639	437	5,666	68.4	719	24,581,346	862,651	3,104,845	28,548,842
8　月	648	457	5,356	70.5	606	23,157,584	633,857	2,653,599	26,445,040
9　月	654	426	4,821	65.1	576	21,391,637	616,604	2,090,772	24,099,013
10　月	666	423	4,641	63.5	445	20,204,703	327,120	1,688,344	22,220,167
11　月	674	408	4,166	60.5	392	15,662,728	214,274	1,346,484	17,223,486
12　月	677	403	3,988	59.5	318	13,789,414	261,453	1,142,136	15,193,003
1　月	685	404	4,168	59.0	283	13,511,552	188,322	1,093,838	14,793,712
2　月	688	418	3,625	60.8	307	13,466,553	159,342	1,120,573	14,746,468
3　月	697	403	3,624	57.8	295	13,810,783	393,313	1,128,120	15,332,216
合計	697	568	53,604	注 81.5	5,330	214,565,382	4,593,882	20,367,304	239,526,568
前年合計	683	548	53,376	注 80.2	5,449	207,889,150	6,453,763	20,047,127	234,390,040
前年比	102.0%	103.6%	100.4%		97.8%	103.2%	71.2%	101.6%	102.2%

※注　就業率の合計欄は、毎月分の合計額ではなく、1年間を通しての就業率です。

（3） 派遣事業実績（北海道シルバー人材センター連合会事業）

区　分	受注件数(件)	実人員(人)	延人員(人日)	受注金額(円)
令和元年度	268	74	7,695	46,803,840
平成30年度	245	59	7,642	43,656,335
対前年増減	23	15	53	3,147,505
前 年 比	109.4%	125.4%	100.7%	107.2%
職　　種	草刈り、夜間管理、店舗整理等			

（4） 請負・派遣合計事業実績（参考）

区　分		令和元年度	平成30年度	比較増減	前 年 比
請　負	受 注 金 額	239,526,568円	234,390,040円	5,136,528円	102.2%
	就業延人員	53,604人日	53,376人日	228人日	100.4%
	就　業　率	81.5%	80.2%	1.3	
派　遣	受 注 金 額	46,803,840円	43,656,335円	3,147,505円	107.2%
	就業延人員	7,695人日	7,642人日	53人日	100.7%
請負・派遣合　計	受 注 金 額	286,330,408円	278,046,375円	8,284,033円	103.0%
	就業延人員	61,299人日	61,018人日	281人日	100.5%
	就　業　率	86.9%	85.6%	1.3	

（5） 指定管理受託施設利用状況

（単位：人）

施　設　名	令和元年度利用者数	平成30年度利用者数	増　　減	前 年 比
労働福祉センター	21,523	33,710	△ 12,187	63.8%
錦大沼公園	65,107	47,972	17,135	135.7%
拓勇・日の出公園	82,393	75,943	6,450	108.5%
高齢者福祉センター	46,479	51,975	△ 5,496	89.4%

4 事故発生状況

（1） 傷害事故発生状況

件数	発生日時	性別	年齢	事故の状況及び結果
1	令和元年 10月3日 （5時15分頃）	男	69歳	自転車で就業先へ向かう途中、走行しながらライトの調整をする際に転倒し、鎖骨を骨折したもの 左鎖骨骨折
2	令和元年 10月29日 （13時00分頃）	女	64歳	掃除機で廊下を清掃中、誤って掃除機のホースを踏み、足をひねり右足を骨折したもの 右第5中足骨近位骨折
3	令和2年 1月20日 （8時30分頃）	女	66歳	就業先へ向かう際、家の外階段で滑って転倒し、ついた右手首を骨折したもの 右手首骨折
4	令和2年 1月24日 （10時30分頃）	男	68歳	チラシ配布作業中、凍結した歩道で滑って転倒し、後頭部を打ったもの 後頭部打撲

（2） 賠償事故発生状況

なし

5 活動状況

期　日	活　動　状　況			
H31.　4. 1	「休憩室の開放」	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	利用者 29人
〃	地区長・班長委嘱状交付式	於	〃	
10	事務局職員研修会	於	札幌市	福田次長
13	臨時新入会員説明会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	参加者 33人
16	第１回 新入会員説明会	於	〃	参加者 15人
18	平成30年度 会計監査	於	〃	
22	第１回 理事会	於	〃	出席者 15人
24	臨時新入会員説明会	於	〃	参加者 30人
26	生涯現役支援窓口事業担当者会議	於	札幌市	福田次長
R1.　5. 7	「休憩室の開放」	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	利用者　5人
20	第１回 広報委員会	於	〃	出席者　6人
21	第２回 新入会員説明会	於	〃	参加者　4人
28	道シ連 第１回 理事会	於	札幌市	理事長
30	令和元年度 定時総会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	参加者126人
〃	「交通安全教室」講師 苫小牧警察署 交通第一課長 北海道警部 梶　貴晶 氏	於	〃	
〃	３年度経過後講習会	於	〃	参加者 24人
31	臨時新入会員説明会	於	〃	参加者　8人
6. 3	「休憩室の開放」	於	〃	利用者 10人
10	剪定講習会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ 文化公園	参加者 11人
11	除草講習会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ 日の出公園	参加者 19人
13	道シ連 定時総会	於	札幌市	理事長 事務局長
14	第２回 広報委員会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者　6人
17	ハナショウブ育て方講習会	於	錦大沼公園	参加者　7人
18	第３回 新入会員説明会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	参加者 14人
19	第１回 安全・適正就業委員会 及び就業先パトロール	於	〃	出席者　6人
20	ハスカップ栽培講習会	於	〃	参加者 22人
〃	全シ協 定時総会	於	東京都	理事長
21	ＮＲＩ 顧客セミナー	於	〃	理事長
〃	第１回 料理講習会	於	女性ｾﾝﾀｰ	参加者 21人
27	第３回 広報委員会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者　6人
7. 1	「休憩室の開放」	於	〃	利用者 16人
5	除草就業体験会	於	錦大沼公園	参加者　5人
9	第２回 安全・適正就業委員会 及び就業先パトロール	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者　6人
11	道シ連 事務局長会議	於	札幌市	事務局長
16	第４回 新入会員説明会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	参加者　8人
7. 19	会員花がらつみボランティア活動	於	錦大沼公園	参加者 43人
〃	会員除草ボランティア活動	於	本幸ふれあい公園	参加者 10人
22	第２回 理事会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者 17人
〃	第１回 総務部会	於	〃	出席者　8人
〃	第１回 シルバーまつり実行委員会	於	〃	出席者 16人

期　日	活　動　状　況			
R1.　7.23	会計セミナー	於	札幌市	小林主任
24	安全大会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	参加者 43人
〃	「健康教室」講師 苫小牧市 健康こども部 健康支援課 保健師　今井　佑子　氏	於	〃	〃
30	苫小牧市長、苫小牧市議会議長に シルバー人材センターの 支援について要望	於	苫小牧市役所	理事長 副理事長2人 事務局長
8.　1	「休憩室の開放」	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	利用者　7人
5	会員清掃ボランティア活動	於	若草中央公園	参加者 28人
8 9	峡中広域シルバー人材センター視察及び 踊る♪ほうとう学校体験・打ち合わせ	於	山梨県	相澤課長
19	道シ連 シニア応援セミナー	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	参加者 11人
20	第５回 新入会員説明会	於	〃	参加者　1人
22	道シ連 第１回三役会議	於	札幌市	理事長
〃	第２回 シルバーまつり実行委員会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者 16人
29 30	全シ協 新任事務局長研修	於	東京都	事務局長
9.　2	「休憩室の開放」	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	利用者 19人
10	防災講習会	於	日の出公園	参加者 24人
12	道シ連 会計担当者研修	於	札幌市	平手主事
13	ＮＲＩ ユーザー会	於	〃	平手主事
17	第６回 新入会員説明会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	参加者 10人
18	会員親睦旅行	於	壮瞥町・大滝村	参加者 47人
28	第18回 『シルバーまつり』	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	来場者約300人
10.　1	「休憩室の開放」	於	〃	利用者 13人
9	踊る♪ほうとう学校 講師　武川　昌代 氏	於	〃	参加者 35人
〃	女性限定入会説明会	於	〃	〃
10	道シ連 第２回 理事会	於	札幌市	理事長
15	第７回 新入会員説明会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	参加者 12人
〃	事務局職員研修会	於	札幌市	箱山主任
16	令和元年度 中間（上半期）監査	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	
17	第３回 理事会	於	〃	出席者 16人
24	道シ連 安全・適正就業推進委員会	於	札幌市	事務局長
28	第１回 地区長会議	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者 12人
31	道シ連 道南ブロック会議	於	函館市	理事長 事務局長
11.　1	「休憩室の開放」	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	利用者　6人
7	シルバー議員連盟総会	於	東京都	理事長
8	派遣元責任者講習	於	札幌市	福田次長 平手主事
〃	第３回 安全・適正就業委員会 及び就業先パトロール	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者　5人
12	毛筆講習会	於	〃	参加者　3人
〃	硬筆講習会	於	〃	参加者　8人
14	西備ブロック職員研修大会	於	岡山県	福田次長
〃	道シ連 安全就業推進員研修会	於	札幌市	山村補佐

期　　日	活　　動　　状　　況			
R1.　11.14	第４回 広報委員会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者　6人
19	第８回 新入会員説明会	於	〃	参加者 11人
21	道シ連 道南ブロック職員研修会	於	登別市	箱山主任 梶原職員
25 ～ 29	地区会議（第１地区～９地区）	於	市内９ヵ所	出席者 140人
12.　2	「休憩室の開放」	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	利用者 15人
3	道 法人団体課 立入検査	於	〃	
6	第５回 広報委員会	於	〃	出席者　6人
12	道シ連 業務担当者研修会	於	札幌市	箱山主任
13	第２回 料理講習会	於	女性ｾﾝﾀｰ	参加者 21人
17	第９回 新入会員説明会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	参加者　5人
19	道シ連 派遣実務担当者研修会	於	札幌市	福田次長 山村補佐
R２.　1.　6	「休憩室の開放」 安全祈願餅つき	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	利用者 37人
10	第６回 広報委員会	於	〃	出席者　6人
15	認知症サポーター養成講座	於	〃	参加者 20人
17	会員親睦新年会	於	〃	参加者 77人
21	第10回 新入会員説明会	於	〃	参加者　8人
22	道シ連 第２回三役会議	於	札幌市	理事長
23	第４回 理事会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者 16人
29	自動車安全運転講習	於	中野自動車学校	参加者　6人
2.　3	「休憩室の開放」	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	利用者 10人
4	第11回 新入会員説明会	於	〃	参加者　5人
5	財政援助団体に係る定期監査	於	労働福祉センター	
6	道シ連 同一労働同一賃金説明会	於	札幌市	福田次長 山村補佐
17	役員・会員による会員募集パンフレット配布 （2/17～3/16　確定申告会場にて）	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	4,592人配布
2.17	出前入会説明会	於	のぞみｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	参加者 10人
18	〃	於	豊川ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ	参加者 13人
19	〃	於	沼ノ端ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	参加者　9人
〃	道シ連 第４回理事会	於	札幌市	理事長
20	出前入会説明会	於	住吉ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	参加者　2人
26 ～ 28	役職員視察研修 （春日井市SC・豊田市SC）	於	愛知県	理事長 加藤副理事長 秋山センター長
3.23	第２回 地区長会議（資料等手渡しのみ）	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者　9人
25	刈払機安全衛生教育講習	於	職業訓練センター	参加者　9人
26	第５回 理事会	於	ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙﾆｭｰ王子	出席者 16人
27	安全・適正就業委員会	於	労働福祉ｾﾝﾀｰ	出席者　6人